

Golden Age Project PRE-73 Premier



取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

Golden Age Project / PRE-73 PREMIER

「GOLDEN AGE PREMIER」は、高品質のビンテージ・スタイルの製品を、手頃な価格帯で提供する Golden Age Project(GAP)のハイエンド・ラインです。

「PRE-73 PREMIER」は、ロック/ポピュラーミュージックのレコーディングの歴史において最も重要な機材の一つである NEVE コンソールのマイクプリアンプを忠実に再現しています。入出力トランスフォーマーにオリジナル機同様の英国製 Carnhill 社のトランスフォーマーを搭載し、オリジナルの NEVE サウンドを完璧に再現しているのが大きな特徴です。

デジタル録音において、クリアなレコーディングが可能になればなるほど、ウォームでスイート、音楽的なパンチ感、有機的な倍音質感が好まれる傾向が強くなっています。高価なビンテージ NEVE モジュールを入手できる機会が少ない現在において、スモールスタジオや自宅録音環境でリアルなビンテージレブリカを利用できることは素晴らしいことです。

シンプルで最高レベルのマイク/ライン/インストゥルメント用のプリアンプに、ハイパスフィルター、AIR EQ、出力 PAD を追加。さらに別売の EQ-73 PREMIER をインサートすることで、NEVE1073 同様のチャンネルストリップを EIA1U で再現できます。

USING PRE-73 PREMIER

- 電源からのケーブルを PRE-73 PREMIER の背面パネルにある AC24V コネクタに接続します。フロントパネルにある POWER スイッチで電源を入れます。
- マイクまたはライン入力ソースを、バックパネルの入力 XLR/TRS コンボジャックに接続します。
- MIC/LINE スイッチで MIC モードまたは LINE モードを選択します。
- 低域をロールオフしたい場合は、ハイパスフィルターの いずれかのポジションをオンにします。スイッチをセンターにセットすると、信号経路からハイパスフィルターが取り除かれます。
- 高音域のレベルを上げたい場合は、AIR eq boost の 2 つのポジションのうち 1 つをオンにします。ブ

ーストの中心は約 30 kHz です。スイッチのセンターポジションは OFF です。

- 色付けを最小限に抑えたい場合は、常に OUTPUT レベルポテンシオメーターを最大またはそれに近い値に設定し、ステップ GAIN スイッチで出力レベルを調整します。

- もっとキャラクターを出したい場合は、OUTPUT レベルポテンシオメーターを反時計回りに回し、GAIN スイッチでゲインを上げてください。これにより、入力ゲインステージがより強くドライブされ、より多くのキャラクターが引き出されます。

- また、OUTPUT PAD を使用すれば、出力段と出力トランスをオーバードライブさせ、より多くのキャラクターを得ることができます。出力トランスの後のレベルを約 14dB 下げますが、出力段とトランスをより強くドライブすることでそれを補うことができます（つまり GAIN と OUTPUT を同じ量だけ上げる）。

出力パッドは、内部終端抵抗（JP1、下記参照）が作動しているときのみ、14dB のレベルダウンをすることに注意してください。

- フロントパネルの TS 入力端子には、約 100k Ω の入カインピーダンスで楽器を接続することができます。DI スイッチを押して、この入力を有効にします。背面にあるソースは、そのまま接続できます。

- ファンタム電源が必要なマイクには、48 V ファンタム電源を供給してください。ファンタム電源は必ず解除した後に、10 秒程度待ってからマイク を抜くのが良い手順です。

- LOW-Z スイッチを押し込むと、MIC モードでの入カインピーダンスは 1200 オームから 300 オームに下がります。これにより、ほとんどのマイクの音色が変化し、サウンドシェーピングの選択肢が一つ増えることとなります。また、信号レベルも上がります。

- 信号の位相を反転させることは多くの場面で有効です。例えば、スネアドラムの下部マイクの位相を反転させ、上部マイクと同位相にすることができます。

- 背面パネルにはアンバランスのインサート端子があり、イコライザーなどの外部エフェクターを挿入することができます。動作レベルは約-10dbu~-18dBu です。センドは "チップ"、リターンは "リング" になっています。

- PRE-73 PREMIER に使用されている出力トランスは、約 600 オームの理想的な負荷を持つように作られています。最近のユニットの入カインピーダンスは 10k Ω 以上であることがほとんどです。

そこで PRE-73 PREMIER では、XLR 出力端子のすぐ後ろにあるジャンパー（JP1）で、600 オームの出力
終端抵抗が設定されています。この終端抵抗は出力レベルを若干低下させ、高域にも影響を及ぼしますの
で、入力インピーダンスが 600 オームのユニットに PRE-73 PREMIER を接続する場合はジャンパーを取
り外してください。

**

本体内部、AC24V 入力ジャックの近くに 1.0A、スローブローのヒューズがあります。